

## 仏生寺地区防災訓練を実施

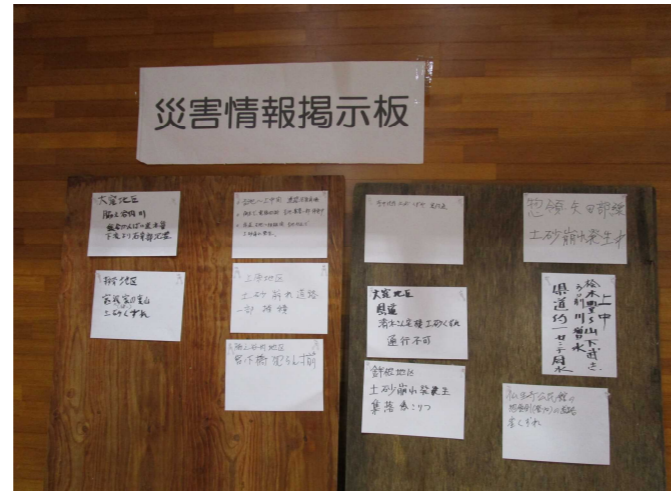
10月20日（日）仏生寺地区の防災訓練を行いました。本年は、7時頃、富山气象台から仏生寺地区に大雨警報及び土砂災害警戒情報が発表され、8時10分に氷見市から河川氾濫や土砂災害の発生する可能性が高まったので、避難勧告が発令されたことを想定した訓練を実施しました。



▲根山会長のあいさつ

避難所に到着後、災害情報を掲示板に貼り出し、避難者名簿を本部に報告しました。その後、根山自主防災会長、市防災危機監理監の挨拶があり、屋敷防災士から、气象台や氷見市等から発表される、防災気象情報や避難情報について説明がありました。

氷見市から仏生寺地区自主防災会長（自治振興委員長）の携帯電話に避難勧告の連絡があり、会長は直ちに各集落の区長に避難勧告を伝達し、連絡を受けた区長は、情報伝達班長、避難誘導班長に近隣住民を十三中学校に避難するよう伝達する情報伝達訓練を行いました。



▲災害情報掲示板

避難所運営・救護訓練として、毛布と2本の棒で簡易担架を作る体験、非常用発電機の始動し、避難所を照明する体験、AEDの使い方体験、ファミリールーム（個室テント）の設置・使い方体験、アルファ米をお湯と水で炊き出す体験をしました。最後にグラウンドにおいて、消火器を使った消火訓練も行いました。



▲簡易担架づくり体験の様子



消火訓練の様子▶



▲AEDの使い方体験の様子



▲アルファ米炊き出し体験の様子



▲非常用発電機の始動体験の様子

## おらっちゃ創生支援事業

◆郷土の先賢「斎藤弥九郎と南弘先生」冊子の編集作業が6月から始まり10月上旬に2000部を作成しました。10月末に、十三中学校校区に全戸配布しました。また、10月7日に氷見市役所を訪問し、中学校等の歴史授業や氷見市の交流イベント等に活用してもらうため、500部を寄贈しました。また、10月11日に十三中学校を訪問し、生徒の歴史授業や先生方の研修会等で活用してもらうため200部を寄贈しました。



▲冊子を市長に贈呈する様子

◆旧仏生寺小学校広場入口広場に、斎藤弥九郎・南弘両先生の生誕地記念碑があります。ここは、コンクリート舗装してありましたが、老朽化で危険なことから、コンクリート舗装をやり直し工事を行い、8月上旬に完成しました。



▲「斎藤弥九郎・南弘両先生 生誕之地」碑（コンクリート補修後）

◆平成26年に、カラーリング用具7セットを購入しましたが、想定以上に利用者が多く、ジェットローラ用ホイールの摩耗が進み交換が必要になったことから新品を購入しました。



◀ジェットローラのホイール



◆現在、ホームページの作成を進めており令和2年3月までに皆さんに公開できるよう準備をしています。